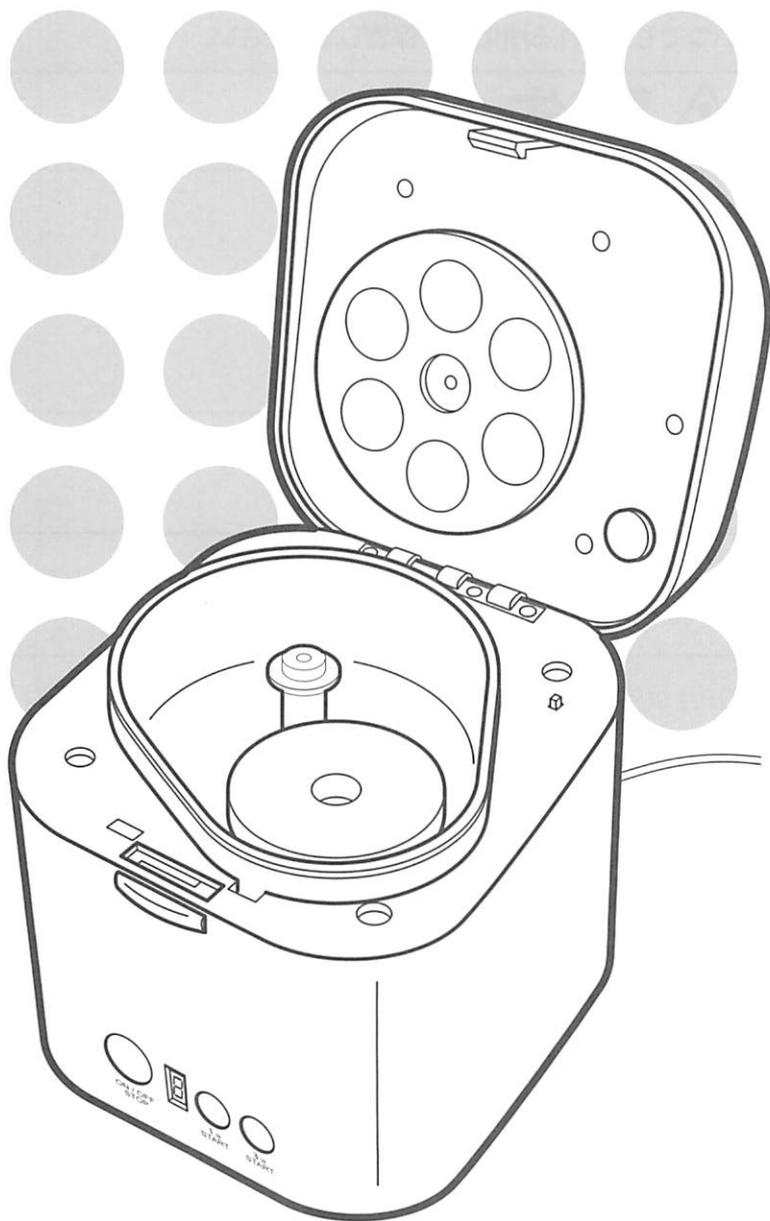


ディスク研磨機

バン クリン Bun Clean

取扱説明書



もくじ

| | |
|---------------|-----|
| 安全上のご注意 | 1・2 |
| 各部の名前と付属部品 | 3 |
| お使いになる前に | 4 |
| 使い方 (研磨磨き手順) | 5・6 |
| 使い方 (仕上げ磨き手順) | 7・8 |
| お手入れ方法 | 9 |
| 仕様 | 9 |
| 消耗品 | 10 |
| アフターサービス | 11 |

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびはディスク研磨機バン クリンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解ください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここで表示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。注意項目は次のように区分しています。

いずれも、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告 誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠ 注意 誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される場合

絵表示の例



○は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「分解禁止」を示します。

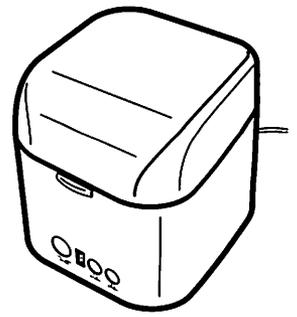


●は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「電源プラグを抜く」を示します。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

| | |
|--------------|---|
| 分解禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●本機の解体・分解は絶対にしないでください。故障等の原因になります。またその場合補償は致しません。 |
| 水場使用禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●本機を湿度の高い場所や水がかかるような場所で使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。 |
| ぬれ手禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源コードの差込プラグを抜き差ししないでください。 ●ぬれた手で本機を操作しないでください。感電の原因となります。 |
| 禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを傷つけたり、破損させないでください。また重いものを乗せたり引張ったりすると電源コードが破損し火災・感電・故障の原因になります。 |
| 必ず守る | <ul style="list-style-type: none"> ●電源はAC100V(50Hz・60Hz)以外では使用しないでください。故障・火災・感電の原因になります。 ●万一、異臭や異音が発生する、または過熱その他の異常な状態になりましたら、すぐに電源を切り電源コードの差込プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電・故障等の原因になります。 ●本機の内部に金属片・通電性の物を落とさないようにしてください。このような状態で使用すると故障・火災・感電の原因になりますので、販売店にご相談ください。 |
| 電源プラグを抜く | <ul style="list-style-type: none"> ●本機の電源スイッチを(OFF)にするだけでは、本機の内部に供給されている電源電圧を遮断することはできません。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。 ●次のような事態が生じた場合は、直ちに電源を切り電源コードの差込プラグをコンセントから抜いて下さい。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> ■電源コードが擦り切れたり、損傷を起こしたとき ■本機内部に液体をこぼしたとき ■本機を雨または湿気・水気の中に過度に晒したとき ■本機を落としたり、損傷したとき ■修理・点検が必要と考えられるとき |



⚠️ 注意



禁止

- ディスク受にディスクがセットされていない状態での作業は絶対にしないでください。必ずディスクをセットして作業してください。バフ・ディスク受・ターンテーブル・本体に異常な摩擦・負担がかかり故障の原因になります。
- 本機指定の研磨剤・仕上剤以外は使用しないでください。研磨剤・仕上剤は体質によりかぶれ・炎症を起こす場合があります。皮膚に付いた時は石鹸等でよく洗い落としてください。誤って飲み込んだ時はできるだけ吐きだしすみやかに医師の診断を受けてください。目に入った時はすみやかに洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 研磨・仕上作業中に電源を切ったり、電源コードの差込プラグを抜かないでください。故障の原因になりますので、本機の動作が確実に停止したことを確認してから電源を切ってください。
- 本機が動作中は本機内に手や指を入れないでください。子供や幼児が誤って本機に触らないように設置・保管・作業には十分に注意してください。



必ず守る

- すぐにコンセントから電源コードの差込プラグを抜くことができる位置に本機を設置してください。またコンセントから差込プラグを抜くときは必ず電源コードの差込プラグを持って抜いてください。本機は電源コードの差込プラグをコンセントから抜いたときに電源の接続が完全に切れます。
- 本機使用時には各部に弛みがなく正常に組み付けられていること、バフがバフ受皿に正確・確実に装着されていることを確認してください。本機やディスクの寿命を縮めたり本機の振動・騒音・故障の原因になるだけではなく、危険ですので注意してください。
- 本機が汚れた場合には乾拭きまたは水で固く絞った柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい時は薄めた中性洗剤を使用して拭いた後、よく水拭きをしその後乾拭きをしてください。シンナー・ベンジン等の溶剤は塗装を傷めたり樹脂を溶かしたりしますので絶対に使用しないでください。
- 本機は水平で安定した場所で使用・保管してください。振動・衝撃がない場所で使用してください。破損・誤動作・故障の原因になります。振動・衝撃が加わった場合にはバフが外れたりパットがずれたりすることがありますので、作業を行う前には正しく装着されていることを必ず確認してください。
- 研磨剤・仕上剤の作業後に出るカスは小まめに清掃してください。
- 適切な効果やアフターサービスを受ける為に、付属部品・消耗品は必ず指定の商品を使用して正しい使用方法でご使用ください。指定品以外の物を使用したり、間違った使用方法をされた場合には、保証の対象にならない場合があります。ご注意ください。
- 直射日光が当たる場所やエアコンの傍などの温度変化の激しい場所は避けてください。また、車中などの温度が急に上昇するところには放置しないでください。
- 埃が多い場所や潮風が当たるなどの塩分の多い場所を避け、水・油・薬品などがかからないようにしてください。



電源プラグを抜く

- 作業終了後・長時間使用しない時・移動・清掃時は必ずコンセントから差込プラグを抜いてから実施してください。
- 雷が近づいてきた時は、早めに電源コードの差込プラグをコンセントから抜いてください。

各部の名前と付属部品

本体部

ターンテーブル

研磨・仕上作業時にディスクをバフと水平に保つための押さえとディスクの滑り止めの役割をします

ディスク受

研磨・仕上作業時にディスクの穴ここにセットします

ダストトレイ

清掃時にはディスク受・バフ受皿を取外し、ダストトレイを取外し清掃してください

OPEN ボタン

蓋を開ける時に押します

ON/OFF STOP

電源のON/OFFと作業を止めるときに押します

タイマー

1分・3分表示で残り時間が9秒からカウントダウンをします電子音でお知らせします

1分 START

1分間の作業をするときに押します(自動的にスタートします)

3分 START

3分間の作業をするときに押します(自動的にスタートします)

安全装置

作業開始時や作業中に蓋が開いた場合に本機を自動的に停止させる装置

バフ受皿

作業時に研磨用バフ+研磨バフ用スペーサー・仕上用バフを中心を合わせて装着してください

電源コード

100V(50/60Hz) 接続用電源コード

防震用ゴム足

本体底に防震用ゴム 4箇所

付属部品

- ① 研磨剤 (200cc)
- ② 仕上剤 (200cc)
- ③ 研磨用バフ
(ディスク約 300 枚程度の使用が可能)
- ④ 研磨バフ用スペーサー
- ⑤ 仕上用バフ
(ディスク約 300 枚程度の使用が可能)
- ⑥ 特殊ペーパー
- ⑦ 取扱説明書



お使いになる前に

- 目的のディスクのデータが破損している場合や、傷が記録層まで達している場合は修復できません。
- 本製品はディスクの修復・復元を保障するものではありません。
- 本製品をご使用してのデータの破損、消失等につきましては補償致しかねます。
- 本機は12cmのディスクの研磨・クリーニング装置としてのみ使用するように設計されています。
(真円の12cmディスクに限ります。8cm・変形ディスク等は除きます)
- 本機の12cmのディスクの研磨・クリーニング以外の使用の場合での故障・事故などの際の補償は致しません。
- 本機で真円の12cmディスク以外を研磨・クリーニングを行った場合は保障は致しません。
- 本機には専用の付属品以外は使用しないでください。
- 専用の付属品以外を使用した場合での故障・事故等の補償は致しません。
- ディスク盤を取り付けずに運転しないでください。必ずディスクと研磨剤・仕上剤を使用して作業をして下さい。
- 連続使用は、30分を目安にして作業を中断し、30分程度時間を開けて作業を再開してください。故障の原因になります。(1時間以上の連続使用での故障等は、補償致しません)
- 中古ディスクやすでに研磨をしているディスクの場合は、ディスクの状態によっては研磨をしても修復出来ない場合があります。
- 本製品を分解・解体・改造等はしないで下さい、故障・事故の原因になります。
分解・解体・改造等を行った場合や、行った形跡がある場合は保障期間等に関わらず、修理・点検等はお断りする場合があります。

バフのセット方法

研磨用バフ

- 研磨用バフに研磨バフ用スペーサーを装着し、それをバフ受皿に装着する。
- この際には研磨時に回転がブレないように各々の中心を合わせる。

仕上用バフ

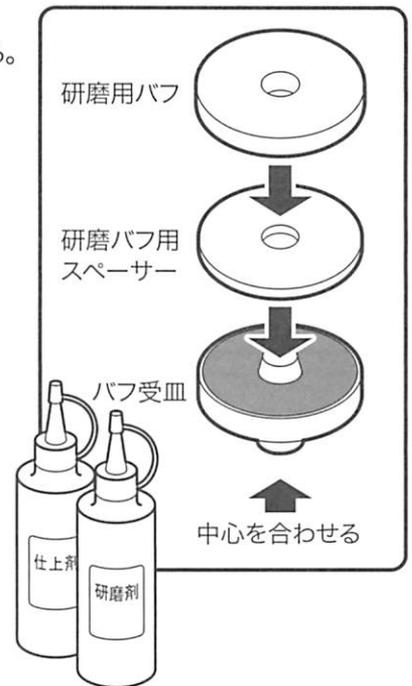
- 仕上用バフの下部にバフ受皿を装着する。
- この際に仕上げ時に回転がブレないように各々の中心を合わせる。

バフの作業前の準備

- 研磨用バフには、専用研磨剤を使用すること。
- 仕上用バフには、専用仕上剤を使用すること。
- バフには使用前に必ず全体に研磨剤・仕上剤をなじませてください。
- 研磨・仕上の作業前には、その作業のつど研磨剤・仕上剤を指定分量をバフに付けて作業をしてください。

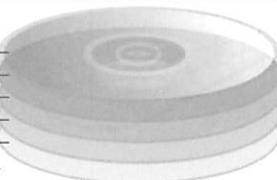
使用方法

- 深い傷の場合はあらかじめ特殊ペーパーをかけてください。
(傷が記録層まで達している場合は特殊ペーパーをかけて研磨しても修復できません)
- 研磨剤・仕上剤は使用前によく振ってください。
- 研磨用バフには、専用研磨剤を使用してください。
- 仕上用バフには、専用仕上剤を使用してください。
- 研磨剤・仕上剤は必ずバフ全体に均一になじませてください。
- 研磨・仕上の作業時には、その作業のつど研磨剤・仕上剤を指定分量をバフに付けて作業をしてください。



ディスクの構造の説明

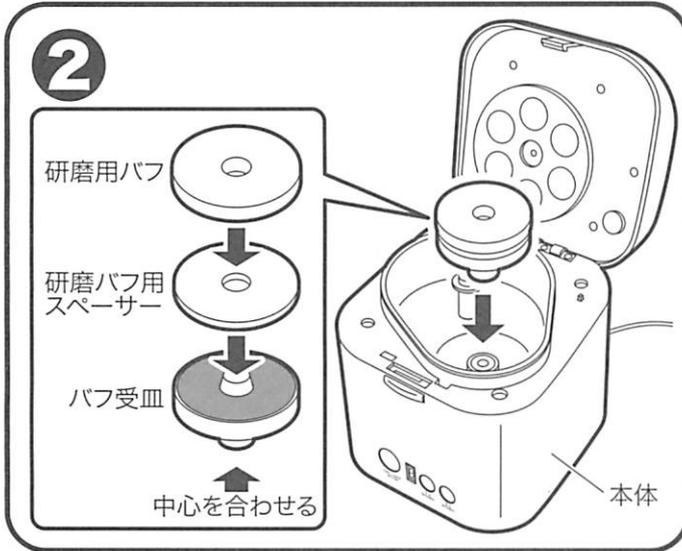
印刷面
保護層
反射層
記録層
保護層
バンクリンはこの部分を研磨します



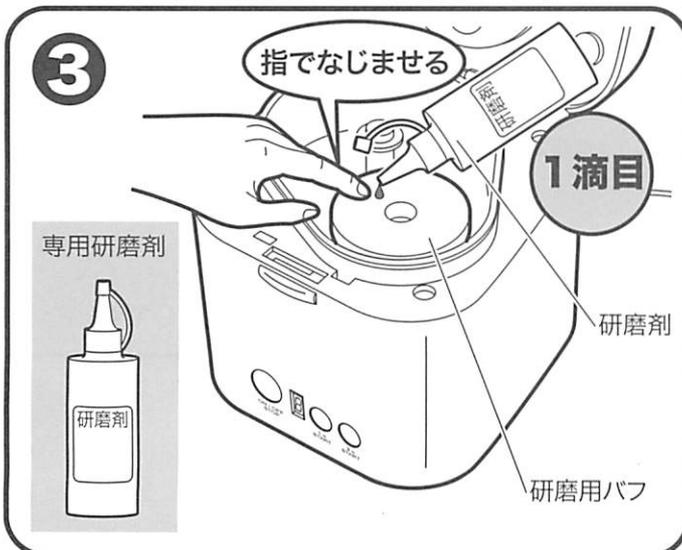
使い方(研磨磨き手順)



電源が**OFF**になっていることを確認して、蓋を開ける。



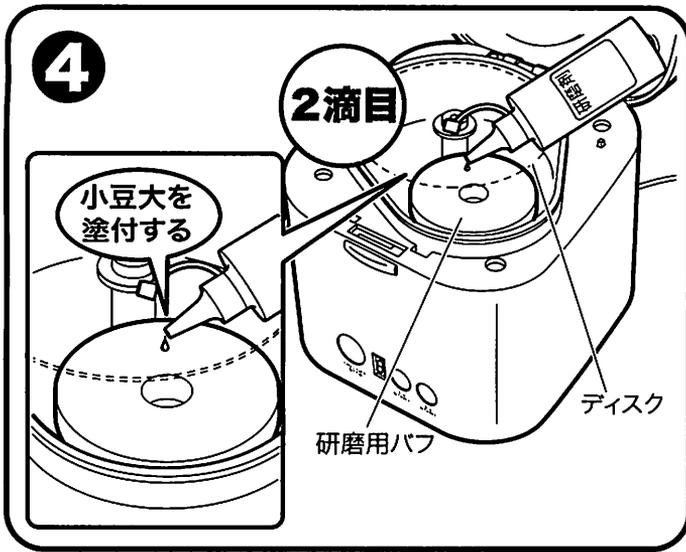
バフ受皿に、
**研磨用バフと
研磨バフ用スパーサー**
を図のように中心を合わせてセットし、
本体に装着する。



1日の使い始め(1枚目)は、
研磨用バフの表面に
専用研磨剤を
指でなじませる。
2枚目からは、③の作業は不要です。
④へ進んでください。

⚠️ 注意

必ず専用研磨剤を使用してください。



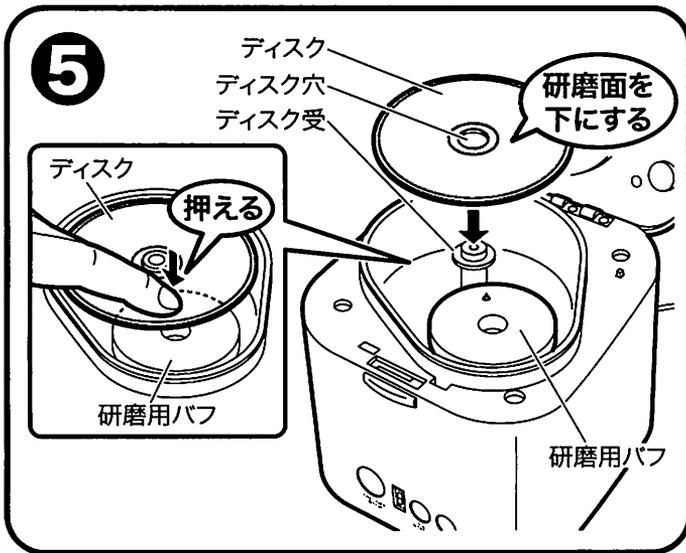
ディスクが接地する研磨用パフの接地部分に**専用研磨剤**を指定分量(小豆大)を塗付する。

傷が深い場合はあらかじめ深い傷の部分のみ

特殊ペーパーを掛けてください。

(ハサミ等で使い易いサイズに切ってお使いください)

(傷が記録層まで達している場合は特殊ペーパーをかけて研磨しても修復できません)

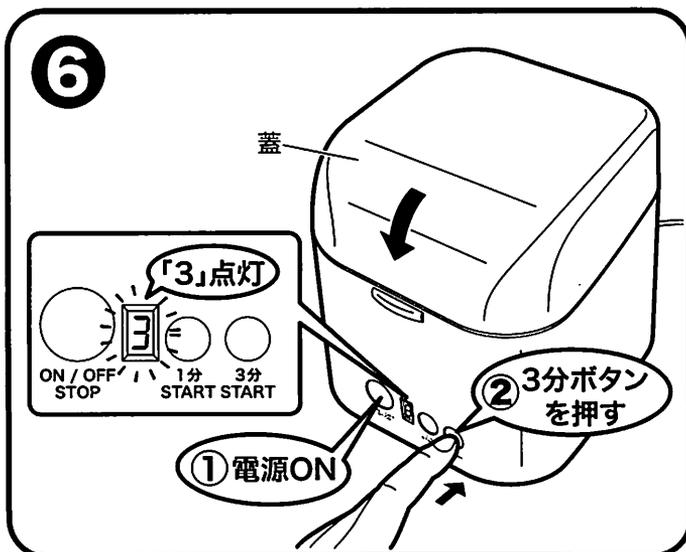


ディスクの研磨面を下(研磨用パフ側)に向け、ディスク受にディスク穴を入れセットする。

ディスクをセットした後、小豆大の研磨剤を塗付した部分を、ディスクの上から押し潰すように手で少し**押える**。

⚠注意

研磨面を必ず下に向けてセットしてください。



蓋を確実に閉め、

電源スイッチを**ON**にする。

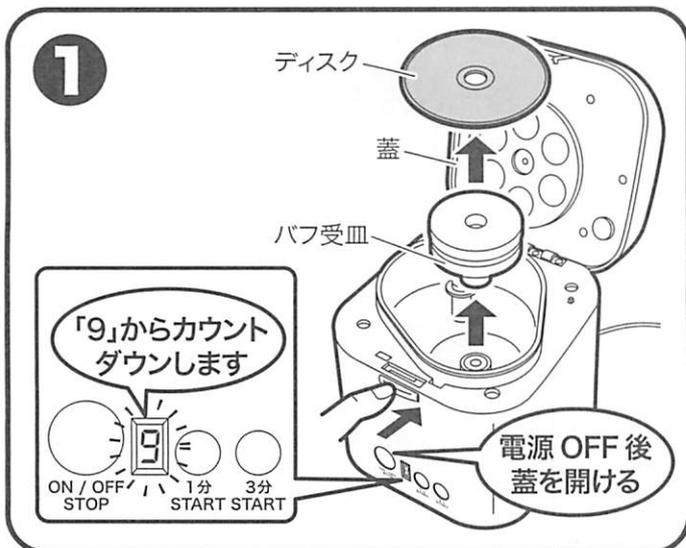
次に**3分ボタン**を

押すと自動的にスタートします。

⚠注意

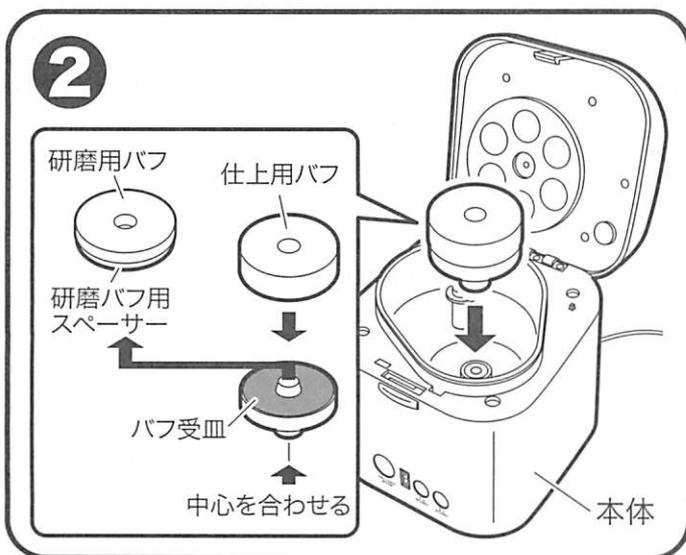
蓋が確実に閉まっていることを確認してください。

使い方(仕上げ磨き手順)



研磨作業の残り時間が10秒未満になると表示が残り9秒からのカウントダウン表示に変わります。

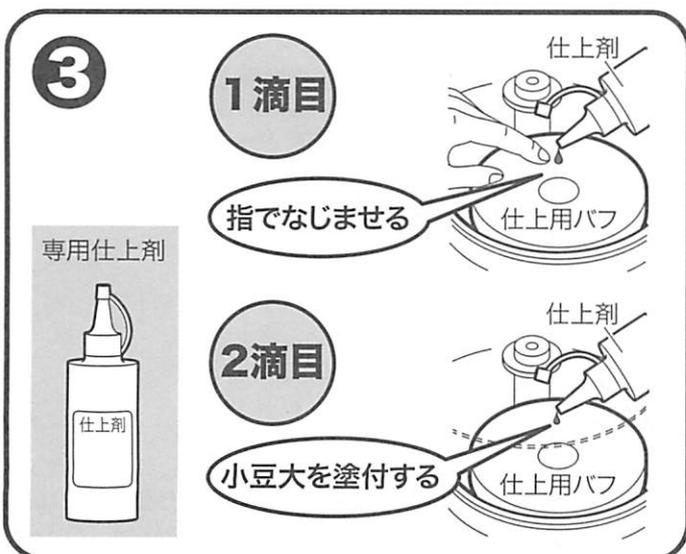
研磨終了後は、回転が完全に止まってから電源を**OFF**にし、ディスク・研磨用バフ・研磨バフ用スパーサーをバフ受皿ごと本体から取りはずす。



バフ受皿から研磨用バフ・研磨バフ用スパーサーをはずし、

仕上用バフをバフ受皿に中心を合わせてセットし、本体に装着する。

※鏡面用バフは(別売)は仕上用バフと同様に装着してください。



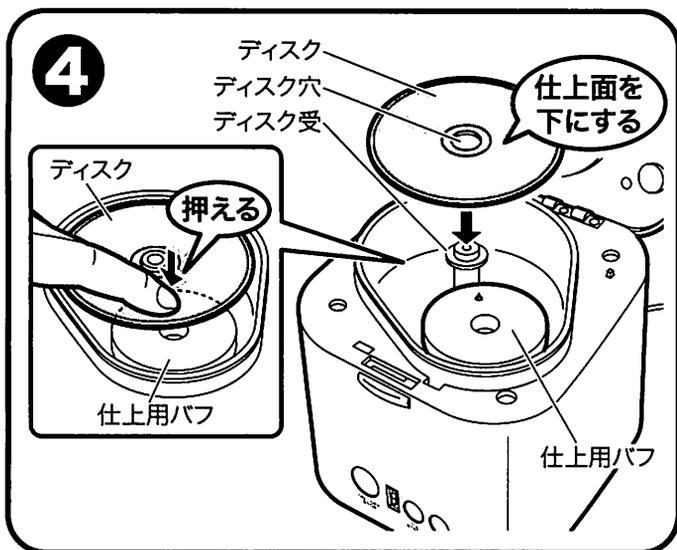
1日の使い始め(1枚目)は、研磨剤塗付と同じ要領で仕上用バフの表面全体に

専用仕上剤を指で馴染ませ、次にディスクが接地する仕上用バフの接地部分にも指定分量(小豆大)を塗付する。2枚目からは、1滴目の作業は不用です。2滴目へ進んでください。

※鏡面仕上剤・PS2用仕上剤(別売)は専用仕上剤と同様に塗付してください。

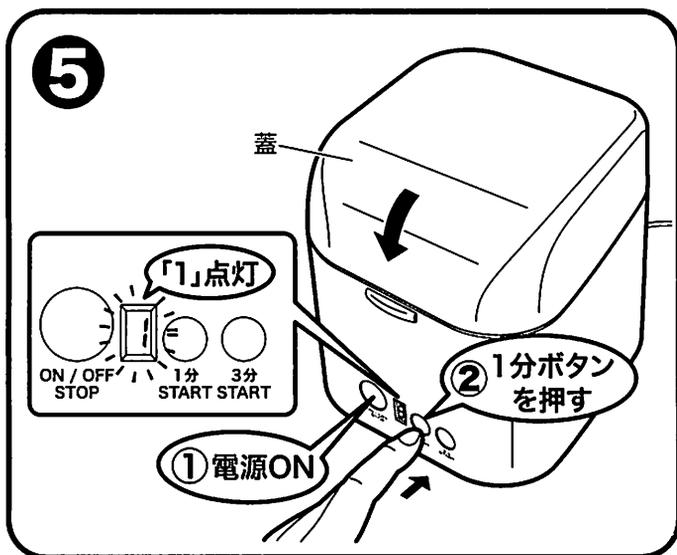
⚠ 注意

必ず専用研磨剤を使用してください。



ディスクの仕上面を下（仕上用パフ側）に向け、ディスク受にディスク穴を入れセットする。

ディスクをセットした後、小豆大の仕上剤を塗付した部分を、ディスクの上から押し潰すように手で少し**押える**。



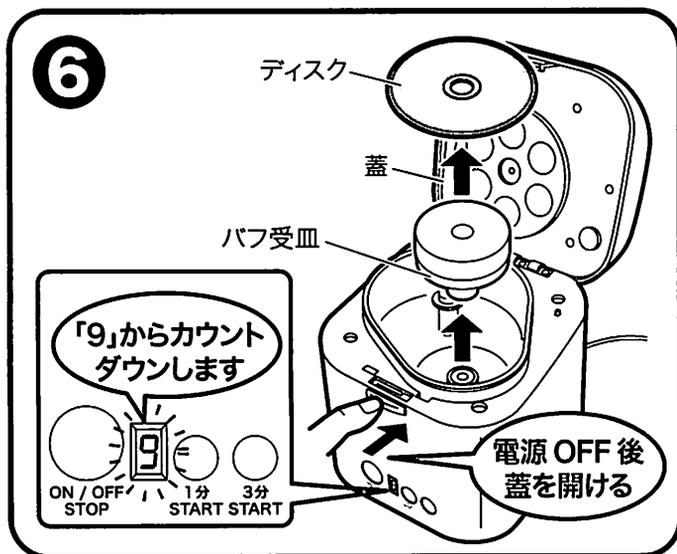
蓋を確実に閉め、電源スイッチを

ONにする、

次に**1分ボタン**を押すと自動的にスタートします。

⚠ 注意

蓋が確実に閉まっていることを確認してください。



研磨作業の残り時間が10秒未満になると表示が残り9秒からのカウントダウン表示に変わります。

仕上終了後は、回転が完全に止まってから電源を**OFF**にし、ディスク・仕上パフをパフ受皿ごと本体から取りはずす。

お手入れ方法

一日の作業終了時には必ず清掃して下さい。
汚れは故障の原因となります。

本体

水洗いはできません。外側はぬれた布で汚れを拭き取った後乾いた布で乾拭きしてください。

内部はダストトレイなどを取除き掃除機等で清掃した後、ぬれた布で汚れを拭き取ってください。

本体内部に水が入ったり各部品に水分が残っていると、故障・錆等の原因になります。

お手入れ後の取付けの際には本体・各部品が確実に乾いているかを確認してから取付けてください。

ターンテーブル

濡れた布で汚れを拭取った後に乾いた布で乾拭きしてください。

バフ

研磨用バフ・仕上用バフ共に20～30回使用すること、および1日の作業終了後には水で軽く揉み洗いして研磨剤・仕上剤のカスを洗い流してください。(研磨剤・仕上剤のカが残っているとディスクに傷を付ける可能性があります。)

洗浄後に水分を取除き、陰干ししてください。(水分を含んだまま作業をするとバフの消耗が激しく、本体の故障の原因にもなります。)

ダストトレイ

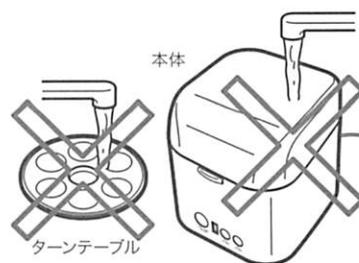
ディスク受・バフ受皿を取り外しダストトレイを取出した後に水洗いをし、乾いた布で拭いてください。

バフ受皿

内部にスプリングが入っているため、水洗いはできません。
ぬれた布で汚れを拭き取ってください。

ディスク受

内部にスプリングが入っているため、水洗いはできません。
ぬれた布で汚れを拭き取ってください。



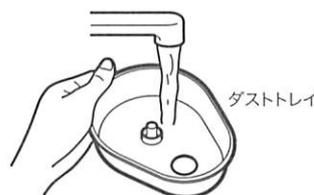
本体

ターンテーブル

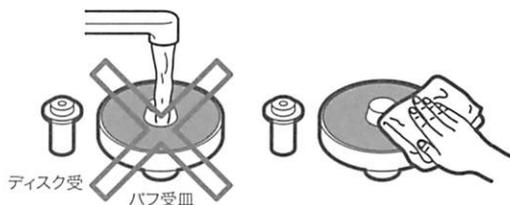


仕上用バフ

研磨用バフ



ダストトレイ

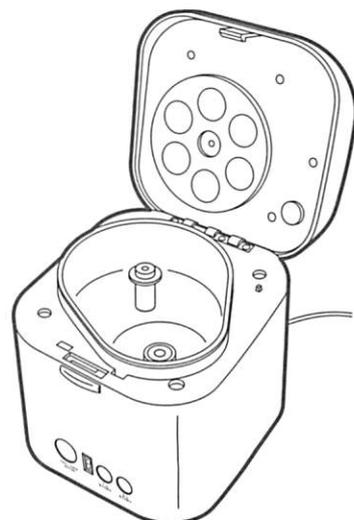


ディスク受

バフ受皿

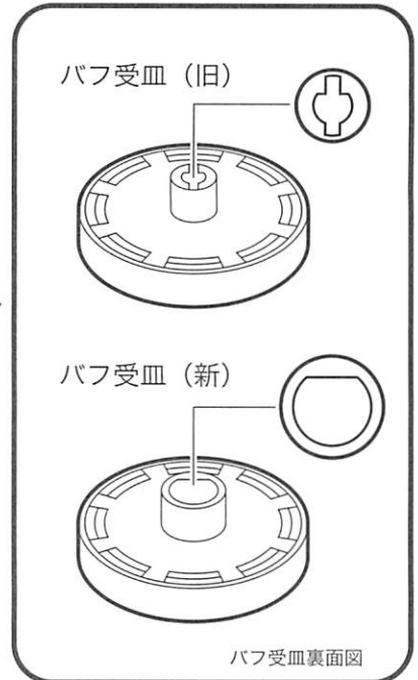
仕様

| 仕様 | |
|------|----------------------|
| 適用電源 | 100V (50/60Hz) |
| 安全装置 | 自動停止スイッチ |
| 制御方法 | 手動 |
| タイマー | 1分・3分(選択式) |
| 外形寸法 | W180mm×H225mm×D180mm |
| 重量 | 3kg |
| 消費電力 | 45W (PCBA+Motor) |
| 使用環境 | 常温にて使用 |



消耗品(別売り)

| 商品番号 | 商品名 | 単価(税抜) |
|-------|-----------------|--------|
| GR-31 | 研磨剤(200cc) | 3,000円 |
| GR-32 | 仕上剤(200cc) | 3,000円 |
| GR-33 | 研磨用パフ(ウール) | 1,000円 |
| GR-34 | 研磨パフ用スプーサー | 600円 |
| GR-35 | 仕上用パフ(スポンジ・白) | 1,000円 |
| GR-36 | 特殊ペーパー | 200円 |
| GR-37 | パフ受皿(旧) | 1,500円 |
| | パフ受皿(新) | 1,500円 |
| GR-38 | ディスク受 | 2,000円 |
| GR-39 | ダストトレイ | 1,000円 |
| GR-40 | ターンテーブル | 2,500円 |
| GR-41 | 鏡面仕上剤(200cc) | 3,500円 |
| GR-42 | 鏡面用パフ(スポンジ・黒) | 1,300円 |
| GR-43 | 拭取りクロス | 1,200円 |
| GR-46 | PS用仕上剤(200cc・黒) | 3,500円 |
| GR-47 | ディスククリーナー | 2,000円 |
| GR-48 | ディスククリーナー用クロス | 1,500円 |



消耗品の使用方法

鏡面仕上剤・鏡面用パフ

仕上磨き作業後に、さらに光沢を出したいときに使用してください。

- 鏡面仕上の作業は、仕上げ磨き手順(P.7)と同じです。

※鏡面仕上用パフには、専用鏡面仕上剤を使用してください。

PS2 用仕上剤

PS2 等の黒色や濃い色のディスクの仕上用に使用してください。

- 仕上用パフは PS2 用仕上剤と通常の仕上剤用とは区別して使用してください。(同じパフを使用するとディスクに曇りが残ります)
- PS2 用仕上の作業は、仕上げ磨き手順と同じです。

ディスククリーナー・ディスククリーナー用クロス

ディスクに付いた汚れ(埃・手脂等)を取ります。

(傷等の修復・復元は致しません)

※汚れがひどい場合はクリーナーを吹きかけた後、そのまま少し放置した後でディスククリーナー用クロスで拭取ってください。

(油性ペン等の汚れは取除くことはできません)

クリーナー

